

航空隊年始編隊飛行訓練の実施について（口頭要請）

- 航空機騒音の軽減に努めるとともに安全対策の徹底を図ること。
- 必要最小限の機数での訓練を実施すること。

令和2年12月25日

陸上自衛隊 立川駐屯地司令 木戸口 和彦 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林正則
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	尾崎保夫
武蔵村山市長	藤野勝

幹事 立川市長 清水庄平

陸上自衛隊による航空隊年始編隊飛行訓練について

1 日時

令和3年1月18日（月）午後1時10分～午後4時頃
（予備日：1月20日（水）同時程）

2 場所

陸上自衛隊立川駐屯地及び周辺空域

3 主要実施内容

（1）編隊飛行実施時間

午後2時～午後3時50分頃

（2）参加機数

編隊群機9機（予備日は12機）

（3）飛行経路

① 主経路：立川～平塚～横須賀～横浜～立川

② 予備経路：立川～朝霞～常総～小山～大宮～立川

（4）その他

関連任務のため、編隊群機とは別に5機の運行があります。

4 安全管理

（1）訓練目的達成のための最小限の機数をもって訓練を行います。

（2）安全確保を最優先とするほか、細部飛行経路の選定にあたっては騒音の低減に留意します。